## 2025年度 成年後見人材育成研修 長野県カリキュラム

使用テキスト ①『権利擁護と成年後見実践』(メインテキスト) ④『成年後見実務マニュアル』 ②『後見六法』 ⑤参考資料集等 ③『専門職後見人と身上監護』

		細口 細口小口櫃 神聖八八 取鈴 華佐/マウン					使用テキスト 統一					
	課目	課目の目標	時間(分)	形態	講師(予定)	1	2	3	4	⑤	レジュメ	課題
1日 8月23日(土) 日 8月24日(日)	0 研修ガイダンス	1 研修の目的を確認する。 2 研修概要、スケジュール、事前課題とその取り扱い等を理解する。 3 受講における留意点及び修了要件を理解し、受講姿勢を明確に する。	9:30 \$ 10:00 (30)	講義	権利擁護センターぱあと なあながの名簿登録者					0	•	
	1 成年後見制度の解説	1 成年後見制度が成立した背景及び制度の趣旨と理念を理解する。 2 法定後見制度と任意後見制度の概要を理解する。 3 成年後見制度の周辺にある制度を理解する。 4 弁護士や司法書士等の専門職との連携について理解する。	10:00 \$ 12:00 (120)	講義	リーガルサポートながの 司法書士	0	0	0		0		•
	2 成年後見活動における 判断能力のとらえ方	1 成年後見制度における診断書、鑑定書について理解する。 2 認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等を理解するため に必要な医学的知識を修得する。	12:40 \$ 13:40 (60)	講義	北アルプス医療センター あづみ病院 精神科医	0	0					
	3 社会福祉士と成年後見 〜権利擁護の視点から	<ul><li>1 社会福祉士の専門性を活かした権利擁護の視点を理解する。</li><li>2 権利擁護の諸制度や成年後見制度の課題と最新動向を理解する。</li></ul>	13:50 \$ 16:50 (180)	講義	権利擁護センターばあと なあながの名簿登録者	0	0	0		0		
	4 財産法の基礎	成年後見制度活用のための財産法の基礎的知識を修得する。	9:30 \$ 11:30 (120)	講義	リーガルサポートながの 司法書士	0	0					•
	5 財産管理のための 知識	1 成年後見制度活用のための財産管理の基本的事項を 理解する。 2 財産管理に必要な具体的方法に関する知識を修得する。	12:30 \$ 14:00 (90)	講義	リーガルサポートながの 司法書士	0	0		0	0		
	6 後見事務の実際1	具体的事例を通して、財産管理の方法を理解する。	14:10 \$ 15:10 (60)	報告 解説	報告者:権利擁護センター ぱあとなあながの名簿登 録者 解説者:司法書士	0	0		0			
	7 家庭裁判所の 実務の理解	1 家裁における後見担当部局の概要(裁判官、調査官、書記官 それぞれの役割)を理解する。 2 家裁における家事審判手続きについて理解する。 3 不正防止への取り組み(監督人の選任、後見支援信託)に ついて理解する。	15:20 \$ 16:50 (90)	講義	長野家庭裁判所職員	0	0			0		
3日 11月29日(土) 目 11月30日(日)	8 家族法の基礎	1 成年後見制度活用に必要な親族法の基礎知識を修得する。 2 成年後見制度活用に必要な相続法の基礎知識を修得する。	9:30 \$ 11:30 (120)	講義	長野県弁護士会 弁護士	0	0					•
	9 身上監護のための 知識	1 身上監護とされる項目を修得する。 2 成年後見制度活用上の留意点に配慮できるようになる。 3 権利侵害に対抗できる手続きを理解する。	12:30 \$ 15:00 (150)	講義	権利擁護センターばあと なあながの名簿登録者	0	0	0	0	0		
	10 後見事務の実際2	具体的な活動事例を通して身上監護の方法を理解する。	15:10 \$ 16:40 (90)	報告 解説	報告者:権利擁護センターば あとなあながの名簿登録者 解説者:権利擁護センターば あとなあながの名簿登録者	0	0	0	0	0		
	11 演習1 ニーズの把握と対応	1 権利擁護ニーズについて理解する。 2 権利擁護に関わる制度の特徴と活用方法を理解する。	9:30 \$ 11:30 (120)	演習	権利擁護センターぱあと なあながの名簿登録者	0	0		0		•	•
	12 演習2 ネットワーク活用による 権利擁護(それぞれの立場 での権利擁護実践)	1 制度の限界を理解する 2 権利擁護について社会福祉士がとるべき態度について 理解する。	12:30 \$ 14:30 (120)	演習	権利擁護センターぱあと なあながの名簿登録者	0	0		0		•	•
	13 今後の活動について	1 研修を振り返り、成年後見人に必要な知識・技術を共有する。 2 成年後見制度を活用するために必要な知識の理解度を確認 するため、修了試験を行う。	14:40 \$ 15:40 (60)	講義	権利擁護センターばあと なあながの名簿登録者	0	0			0		•